

ひらやま一号

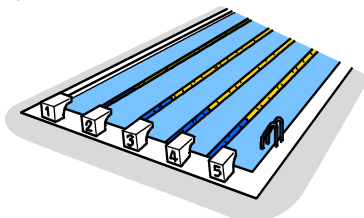
自分と向き合うことで成長していく

六年一組 布井 沙和

(五年度六年生..現中学一年生)

私は、ウン・ソホルさんの「5番  
レオン」という本を読みました。な  
ぜなら、「5番レオン」という題名  
がどんな意味なのだろうと気になっ  
たからです。

登壇人物の行動におどろいたり共感したりしましたが、その中でも特に心に残ったことが二つあります。一つ目は、自分のしたことに責任をもつことの難しさです。ナルは、チヨヒのお守りである水着をぬすんでしまったことの責任をとるために、決勝を棄権すると決断します。



もし私なら、謝罪はしても試合を棄権するとまでは言わないと思います。自分のしたことに責任をもつことは難しいと感じました。

二つ目は、夢中になれることの素晴らしさです。試合で勝つために朝早くに一人で泳いだり、土日も練習

した。りとしていったナルの様子は、読んでいて素敵だなと思うと同時に私には真似できないなと思ひました。私も水泳をしています、楽しむためにやつているのでナルのよゝみに夢中になれるものがあることは素敵だなと思ひます。

この本を読んで、一「5番レーン」は二番目に速い人が泳ぐレーンと知り、題名には目標が達成できなくて辛い思いになっていても自分と向き合うことを大切にしたいという作者の願いが込められているのではないかと思いました。今までの私は大きな壁にぶつかるとはありませんでした。しかし、それは夢中になれることがなかったからなのかもしれません。もし、これから私に夢中になれるものが見つかったら、家族や友達など周りの人たちの力を借りながら、自分と向き合うことを大切にしたいと思います。私は、「自分と向き合うこと」と「自分を知らず」はいいしよだと思おうので、この機会に、自分のことを知ろうかな、ふり返ってみようかなと思います。



1才のおいおい

五年二組 前田 遥香  
(昨年度..四年三組)

今日は、末っ子のりんかの1才のおいわいで、もちふみをしました。おじいちゃんとおばあちゃんも見に来ました。もちふみとは、1才にな

ったことをおいわいし、元気に大きな  
なるようにと願う行事です。

最初は、もちろんをしました。り  
んかは、いやがりながらもちふみを  
がんばっていました。次に、ごちそ  
うを食べました。ちらずと赤飯  
とオードブルを食べました。どれも

[illegible]

【宮崎日日新聞『若い目』  
令和六年三月二十三日】

わすれ物を目指して


五年二組 生井 千穂子  
(昨年度・四年三組)

私は、「わすれ物O」をがんばりたいと思います。わすれ物をOにするための方法は、二つあります。

一つ目は、持って行く物を一回チェックした後に、何回もちチェックすればいいと思います。

二つ目は、家で使うためにランドセルから出したら、すぐにしまうと思います。

このように工夫したら、わすれ物Oになると思います。



【タ刊デイリー】『光の子』

令和六年三月二十九日】

竹とんぼ

五年一組 増田 幸大  
(昨年度.. 四年三組)

ぼくは、グリーンパークに竹とんぼをとばしに行きました。竹とんぼは、日向市文化交流センターで作ったものです。ぼくは左ききなので左きき用を作りました。

飛ばす時、竹とんぼが回り、空高く飛びました。交流センターですべり止めもつけたので、飛ばしやすかったです。練習していくうちにどんどん高く飛んでいきました。

他にもいいところたくさんあります。グリンパークは風があつて気持ちがいいのでまた行きたいです。そして、次が竹とんぼのうでを上げて飛ばしたいです。

【宮崎日日新聞「若い目」  
令和六年四月五日】

宮崎日日新聞・宮田くども新聞  
《みんなの作品》

二年一組  
吉弘 芽生  
(昨年度一年三組)



2年2組

柏田宗嗣朗さん  
絵の作品が4月6日「宮  
日こども新聞」に掲載  
されましたが、印刷の  
濃度の関係で本紙面に  
掲載することができま  
せんでした。

ご了承ください。